

## 第1次の取り組みの際の幸町地区の課題

	「幸町第一小と第四小を考える会」から提出された課題	「千葉市学校適正配置実施方針」に明記した対応 対応する部分を抜粋	その他
統合に当たっての教育環境整備	教職員の加配	スムーズな学校運営と安定した教育実践が行われるよう、学校の実情を踏まえ、必要な場合には、増置教員・非常勤職員を配置する。  職員の配置に当たっては、児童・生徒の心理的な面を配慮するとともに、地域性を理解した教育の推進が図れるよう、統合前の職員をバランスよく配置する。	
	校舎の整備	施設・設備面において、機能的に新設校と同等程度の整備を実施する。 大規模改修を基本としたリニューアルを実施する。  耐用年数等により、大規模改修で対応できない校舎については、改築を検討する。	
	教材・備品の確保		大規模改修時に下駄箱、ロッカー、特別教室の机、イス等は新しいものを整備。
統合にあたっての児童の心理的負担軽減	準備期間中の児童交流の推進と人員配置	統合による新設校への円滑な移行に向けて、「統合準備会」を設置し検討事項（統合スケジュール、交流事業、跡地利用等）についての協議を行う。	
幸町二丁目全体の小学校と中学校の学区見直し	中学校も含めた幸町地区全体の適正配置	Aパターン地域（複数の小規模校が集中する地域）においては、地域の枠組みを設定し、統合により適正配置を検討する。その際、必要に応じて通学区の調整を行う。	